

☆☆☆ 会費口数の見方および年会費の算定事例 ☆☆☆
会費1口は3,000円です。

【事例1】 個人営業の場合

私は、青果業を営んでいます。個人事業者で私と妻のほかにパート2名です。

会費口数算定基準表の左端「個人」の欄で従業員数については、備考1の(4)に基づき

【事例1】の場合は、0人となります。

会費口数=3口 年会費 9,000円 (@¥3,000×3口)

【事例2】 法人営業の場合

私は、株式会社東京産業という清掃業を営んでいます。資本金は、500万円で社長
役員1名、契約社員2名、正社員1名です。

↓

従業員数 1名

会費口数算定基準表の左端「資本金区分の500万～1,000万未満」の欄で従業員数に
ついては、備考1の(4)より**【事例2】**の場合は、1人のところの交差した口数で決定し
ます。

会費口数=9口 年会費 27,000円 (@¥3,000×9口)

【事例3】 支店営業の場合 (営業所の場合も同じ)

私のところは、本社が大阪で化粧品販売業を営んでおります。柏支店を出店
するにあたり入会したいが会費はどの位ですか？

会社の資本金は、8,000万円で全社総従業員数500人です。柏支店の
従業員構成は、支店長・正社員1名・派遣社員5名です。

↓

従業員数 2名

この場合は、柏支店における資本金を会費口数算定基準表の備考1の(3)に基づき
下記のとおり算出します。

(資本金) 8,000万円 ÷ (全社総従業員数) 500人 × (柏支店の従業員数) 2名
= (柏支店における資本金) 32万円

会費口数算定基準表の左端「資本金区分の500万未満」の欄で従業員数については、
備考1の(4)より**【事例3】**の場合は、2人のところの交差した口数で決定します。

会費口数=7口 年会費 21,000円 (@¥3,000×7口)